

## 若手福祉従事者の「業務」意識に関するアンケート

アンケート調査のご協力をお願い

高齢者・障がい者の福祉・介護サービスの職場は、低賃金や人間関係の不満、仕事に対する悩みからの孤立などさまざまな事情から離職者が相次いでいます。現在、利用者のニーズの多様化に伴い、多くのサービスを展開する事業所が増加しており、離職者問題も利用者にとっては十分なサービスを受けられないという状況に陥りかねません。

また若手福祉従事者の育成については、各事業所内での研修等が行われていますが、日々の業務に追われているということが現実です。しかし、同僚の活躍を励みにして、利用者の生活や将来のため・社会やまちづくりのために力を尽くす上司に憧れてその姿を目指している若手福祉従事者も多くいます。

そこで、若手福祉従事者の「業務」意識について、その現状を把握して、今悩んでいることや不安に思っていることを導き出し、離職を予防するための対策について検討するために、北海道内の福祉施設・事業所の若手福祉従事者の皆様を対象とするアンケートを実施することと致しました。

つきましては、上記についての現状などについて、ご意見を頂きたく、アンケートへのご協力をお願いする次第です。

石川 秀也(福祉・介護人材サポートネットワーク構築事業統括責任者)

大原 裕介(福祉・介護人材サポートネットワーク構築事業総括プロデューサー)

### 記

調査名	若手福祉従事者の「業務」意識に関するアンケート
調査目的	若手福祉従事者の業務に関する現状把握から離職を予防するための対策を検討する
調査対象	北海道内に所在する福祉施設・事業所に従事する若手福祉従事者 * 北海道で福祉分野のあらゆる業務に従事している者 * 10代から30代(39歳)までの福祉従事者 * 職場での雇用形態及び従事経験年数については問わない
調査方法	郵送アンケート形式／ホームページからの投稿形式 * 選択肢回答形式(一部自由記述あり) * 回答には同封の返信用封筒をご利用ください(切手貼付は不要です)
回答〆切	平成22年12月20日(月)
問合せ先	調査趣旨・回答方法に関するお問合せは下記までお願いします。 (確実な対応のため、お問合せは原則E-mailにてお願いいたします。) 本事業事務局 山下あゆみ E-mail: snw@hoku-iryo-u.ac.jp
その他	利用者およびご家族など、個人を特定する情報をご記入頂く設問はありません ご回答内容は本調査目的以外に利用することはありません アンケートについては、北海道医療大学のホームページからでも回答していただけます 本事業は北海道から北海道医療大学が委託を受けて実施しているものです。事業内容につきましては、ホームページ( <a href="http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~gakumu/snw/">http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~gakumu/snw/</a> )をご覧ください

## 若手福祉従事者の「業務」意識に関するアンケート

## 【基本属性】

1. 以下の質問で、あてはまると思う項目を選択し数字に○印、または内容を記入してください。

性別	① 男性    ② 女性	年齢	①10代    ②20-24歳    ③25-29歳 ④30-34歳    ⑤35-39歳
最終学歴	①中学校    ②高校    ③専門学校    ④短期大学    ⑤大学    ⑥大学院    ⑦その他(    )		
職場の所在地	①札幌市    ②石狩    ③渡島    ④檜山    ⑤後志    ⑥空知    ⑦上川    ⑧留萌 ⑨宗谷    ⑩オホーツク    ⑪胆振    ⑫日高    ⑬十勝    ⑭釧路    ⑮根室		
現在の職場の経営主体	①社会福祉法人    ②医療法人    ③NPO法人    ④株式会社    ⑤有限会社    ⑥行政機関 ⑦無認可    ⑧その他(    )		
現在の職場の従業員数(法人全体は含みません)	(    )名	職場分野	①高齢者    ②障がい(児)者    ③児童 ④医療    ⑤教育    ⑥その他(    )
サービス内容	①訪問系サービス    ②通所系サービス    ③入所系サービス    ④グループホーム・ケアホーム ⑤相談支援    ⑥病院・クリニック    ⑦教育    ⑧行政    ⑨その他(    )		
職種	職 種 名(    ) 主な業務の内容(    )		
役 職	①経営者    ②施設長・所長    ③中間管理職    ④なし    ⑤その他(    )		
取得している資格(業務に関係のあるもののみお答え下さい)	* 該当するものすべてに○をつけてください ①社会福祉士    ②介護福祉士    ③精神保健福祉士    ④介護支援専門員 ⑤理学療法士(PT)    ⑥作業療法士(OT)    ⑦看護師    ⑧保健師    ⑨保育士 ⑩ホームヘルパー    ⑪社会福祉主事任用資格    ⑫教員免許    ⑬その他(    )		
現在の職場の在職年数	(    )年目	福祉職としての経験年数	(    )年目
現在の職場での雇用形態	①正規職員    ②臨時職員    ③契約職員    ④パート職員    ⑤その他(    )		
1週間の平均労働時間数(超過勤務を含みません)	①-20時間未満    ②20-40時間未満    ③40-60時間未満    ④60-80時間未満 ⑤80-100時間未満    ⑥100時間以上		
現在の年収(交通費等手当ても含む)	①100万円未満    ②100-150万円未満    ③150-200万円未満    ④200-250万円未満 ⑤250-300万円未満    ⑥300-350万円未満    ⑦350-400万円未満 ⑧400-450万円未満    ⑨450-500万円未満    ⑩500-550万円未満 ⑪550-600万円未満    ⑫600万円以上		

若手福祉従事者の「業務」意識に関するアンケート

【現在の職場について】

2. 現在の職場についてお教えてください

現在の職場に従事するきっかけとして影響があったこと	<p>* 上位2つを選んでください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①事業所の理念</li> <li>②事業内容に魅力があったから</li> <li>③事業所の規模や安定感</li> <li>④事業所の立地条件</li> <li>⑤労働時間などの勤務条件</li> <li>⑥給与条件</li> <li>⑦紹介・人間関係など</li> <li>⑧その他( )</li> </ul>
---------------------------	---

3. 現在の職場では以下の項目について、どれくらい充実していると感じておられますか。

あてはまる位置に「○」をつけてください

5⇒とても充実している    4⇒やや充実している    3⇒どちらともいえない    2⇒やや不足している    1⇒不足している

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| (1) 業務に対する適切な評価          | 【 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 】 |
| (2) 情報共有や意見交換をおこなう会議     | 【 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 】 |
| (3) 利用者の支援に関するケース会議      | 【 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 】 |
| (4) 利用者の支援に関する上司等への相談の機会 | 【 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 】 |
| (5) 利用者の支援に関する学習の機会      | 【 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 】 |
| (6) 業務上の悩みや不安を話し合う機会     | 【 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 】 |

若手福祉従事者の「業務」意識に関するアンケート

### 【業務上の悩みや不安について】

4. 現在の仕事に従事している中で、以下の項目についてどの程度悩んでいると感じておられますか

あてはまる位置に「○」をつけてください

	5⇒かなり悩んでいる	4⇒やや悩んでいる	3⇒どちらでもない	2⇒あまり悩んでいない	1⇒全く悩んでいない
(1) 給与が低くて生活することが難しい					
(2) 現在の生活は問題ないが、給与が低くて将来の生活が不安である					
(3) 休みが少ない					
(4) 感染症等の予防が不十分である					
(5) 働く時間が長く、過重労働である					
(6) 職場での人間関係がうまくいかない					
(7) 職場内の意思疎通や連携がない					
(8) 職場の利用者との関係性がうまくいかない					
(9) 働く前の福祉職のイメージと実際に働いている福祉の現場にギャップがある					
(10) 職場の掲げる理念に向かって、業務を進めることができない					
(11) 職場に頼れるリーダーがいない					
(12) 取得した資格が職場の中で活かされていない					
(13) 総合:上記1-10をすべて勘案して、総合的にどの程度悩んでいますか					

5. これまで離職した同僚や、自分が転職した理由はどのようなものでいたか。最も該当するものを下記の中から1つ

選んで「○」をつけてください

- ① 給与が低い
- ② 休みが少ない
- ③ 勤務時間が長い
- ④ 職員同士の人間関係
- ⑤ 利用者との人間関係
- ⑥ イメージと違った
- ⑦ 理想の業務ができない
- ⑧ スキルアップする機会がない
- ⑨ 上司に恵まれない
- ⑩ 組織が硬直的
- ⑪ 異性と出会う機会がない
- ⑫ 出産・子育てしながら働くことができない
- ⑬ 体調を崩した
- ⑭ 将来展望がもてない
- ⑮ わからない
- ⑯ その他( )

若手福祉従事者の「業務」意識に関するアンケート

【自己研鑽や交流会の機会について】

6. 過去1年以内に研修会に参加する機会がありましたか。

□ はい	①事業所内研修( )回 ②事業所外研修( )回
□ いいえ	その理由を下記の中から該当するものに「○」をつけてください ① 参加の機会がなかった ② 参加の機会があったが、費用がかかるので参加しなかった ③ 参加の機会があったが、日程が合わず参加しなかった ④ 参加の機会があったが、参加の意思がなかった ⑤ 参加の機会があったが、職場が参加させてくれなかった ⑥ 職場から研修機会を知らされなかった ⑦ その他( )

7. どのような研修があればいいと思いますか。上位2つを選んでください

- ① 他の職場の状況が分かる実践報告
- ② 利用者の支援に関する技術を高めるスキルアップ研修
- ③ 利用者の支援に関する知識を習得するスキルアップ研修
- ④ 組織・チームの管理力のスキルアップ研修
- ⑤ 組織・チームの人間関係を円滑にするコミュニケーションスキルアップ研修
- ⑥ 苦情解決を円滑に対処するスキルアップ研修
- ⑦ リスクマネジメントに関する研修
- ⑧ 災害時の対応に関する研修
- ⑥ NPO法人等の起業に関する研修
- ⑦ NPO法人等の経営に関する研修
- ⑧ その他( )

8. 過去1年以内に他の職場の福祉従事者同士が交流する機会がありましたか

□ はい	( )回
□ いいえ	その理由を下記の中から該当するものに「○」をつけてください ① 参加の機会がなかった ② 参加の機会があったが、費用がかかるので参加しなかった ③ 参加の機会があったが、日程が合わず参加しなかった ④ 参加の機会があったが、参加の意思がなかった ⑤ 職場から参加の指示がなかった ⑥ その他( )

若手福祉従事者の「業務」意識に関するアンケート

【自己研鑽や交流会の機会について】 つづき

9. 他の職場の福祉従事者同士が交流する機会は必要だと思いますか

<input type="checkbox"/> 必要である	<p>その理由を下記の中から該当するもの2つ以内で「○」をつけてください</p> <p>① 悩みを共有できるから</p> <p>② 不安を聞いてもらえるから</p> <p>③ 他の職場の状況がわかるから</p> <p>④ 技術や知識を高めることができるから</p> <p>⑤ 仕事上の連携に役立つから</p> <p>⑥ スーパーバイズや指導を受けることができるから</p> <p>⑦ 異性との出会いがあるから</p> <p>⑧ その他( )</p>
<input type="checkbox"/> 必要ない	

10. 他の職場の人たちと、どのような交流機会が充実していれば良いと思いますか

\* 該当するものすべてに「○」をつけてください

- ① 同じ職種の従事者との交流
- ② 異なる職種の従事者との交流
- ③ 異なる業界の従事者との交流
- ④ 同年代の従事者との交流
- ⑤ ベテランの年代の従事者との交流
- ⑥ 交流機会は必要ない
- ⑦ その他( )

若手福祉従事者の「業務」意識に関するアンケート

【福祉の仕事について】

11. 福祉職に従事するきっかけに最も影響があったと思われる出来事はなんですか。

その理由を下記の中から該当するもの1つに「○」をつけてください

- ① 福祉職に従事する前にボランティア等の経験があつて興味を持ったから
- ② 人の役に立てる仕事があったから
- ③ 自分の個人的な体験から、福祉に興味を持ったから（家族に介護を必要とする人がいた等）
- ④ 進路指導の先生にすすめられたから
- ⑤ 親や身内にすすめられたから
- ⑥ ハローワークで斡旋されたから
- ⑦ 失業・転職により
- ⑧ 福祉の仕事を知る機会があったから

\*どんな機会だったのか、具体的に教えてください

⑨ その他

12. 今の仕事を続けていきたいと思いませんか

- ① ぜひ続けたい
- ② 続けても良い
- ③ 続けたくない
- ④ 転職を考えている
- ⑤ 福祉関係の仕事はもう辞めたい

13. 現在の仕事のモチベーションを特に支えているものはなんですか。

その理由を下記の中から該当するもの1つに「○」をつけてください

- |              |                |
|--------------|----------------|
| ① 利用者の利益のため  | ② 社会貢献の意識      |
| ③ 地域との交流     | ④ 自分や家族の生活のため  |
| ⑤ 給与がいいから    | ⑥ 職場での評価       |
| ⑦ 職場環境がいいから  | ⑧ 職場の人間関係がいいから |
| ⑨ 職場が自宅と近いから | ⑩ 今の仕事が好きだから   |
| ⑪ その他( )     |                |

若手福祉従事者の「業務」意識に関するアンケート

【福祉の仕事について】 つづき

14. 福祉には魅力があると思いますか

- ① 魅力的である
- ② 魅力があまりない
- ③ 魅力がない
- ④ よくわからない

上記のように考える理由を教えてください

--

15. 次世代を担う高校生たちが福祉の世界に興味関心を持つために、どのような取り組みが必要と考えますか。

皆さまからのアイデアをご提案ください

--

来年2月に開催の、アンケート集計の結果に基づく研修会をご案内させていただきます。

ご希望の方は、メールアドレスをご記入ください。

また、若手福祉従事者の活動情報に興味・関心がございましたら、メールアドレスをご記入の上、若手福祉従事者ネットワークにご登録いただけますよう、よろしくお願いいたします。

事業内容につきましては、ホームページをご覧ください。

(<http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/^gakumu/snw/>)

E-mail（*パソコンを優先）	
------------------	--

アンケートは以上になります。

ご協力ありがとうございました。